

へき地病院再生支援・教育機構

A 欧文

A-a

1. Matsui Y, Satoh K, Miyazaki T, Shirabe S, Atarashi R, Mutsukura K, Satoh A, Kataoka Y, Nishida N.: High sensitivity of an ELISA kit for detection of the gamma-isoform of 14-3-3 proteins: usefulness in laboratory diagnosis of human prion disease. BMC Neurol 11(1): 120, 2011 (IF:2.797) *
2. Satoh K, Nakaoka R, Nishiura Y, Tsujino A, Motomura M, Yoshimura T, Sasaki K, Shigematsu K, Shirabe S, Eguchi K.: Early detection of sporadic CJD by diffusion-weighted MRI before the onset of symptoms. J Neurol Neurosurg Psychiatry. 82(8):942-943, 2011 (IF:4.791) *
3. Yamamoto T, Kato M, Shirabe S.: Life, health, and community in a tsunami-affected town. Lancet 378(9788): 318, 2011 (IF:33.633) *
4. Tsujino A, Kaibara M, Hayashi H, Eguchi H, Nakayama S, Sato K, Fukuda T, Tateishi Y, Shirabe S, Taniyama K, Kawakami A: A CLCN1 mutation in dominant myotonia congenita impairs the increment of chloride conductance during repetitive depolarization. Neurosci Lett. 494(2): 155-160, 2011 (IF:2.055) *◇
5. Atarashi R, Satoh K, Sano K, Fuse T, Yamaguchi N, Ishibashi D, Matsubara T, Nakagaki T, Yamanaka H, Shirabe S, Yamada M, Mizusawa H, Kitamoto T, Klug G, McGlade A, Collins SJ, Nishida N: Ultrasensitive human prion detection in cerebrospinal fluid by real-time quaking-induced conversion. Nat Med. 17(2): 175-178, 2011 (IF:25.430) *
6. Banks WA, Kumar VB, Farr SA, Nakaoka R, Robinson SM, Morley JE: Impairments in Brain-to-Blood Transport of Amyloid- β and Reabsorption of Cerebrospinal Fluid in an Animal Model of Alzheimer's Disease are Reversed by Antisense Directed Against Amyloid- β Protein Precursor. J Alzheimers Dis. 1;23(4):599-605, 2011 (IF:4.261) *★

B 邦文

B-b

1. 新竜一郎, 佐藤克也, 佐野和憲, 布施隆行, 山口尚宏, 石橋大輔, 松原岳大, 中垣岳大, 山中仁木, 調 漸, 山田正仁, 水澤英洋, 北本哲之, 西田教行: プリオン病の疫学から治療まで Real-time QUIC 法による髄液中異常プリオン蛋白の測定. NEUROINFECTION16 巻 1 号 pp64-66, 2011

B-c

2. 佐藤克也, 調 漸: Kuru. (日本臨床 2011 年増刊号 認知症学(下) —その解明と治療の最新知見—15.プリオン病の診断と治療 a. 孤発性プリオン病, 日本臨床社, 大阪, pp423-426) 2011
3. 中桶了太, 藤田純次, 井階友貴: 行政と医療者の奮闘—長崎県平戸市の場合—. (井階友貴(編著): 一步先行く地域医療～はじめよう住民・行政・医療者の三位一体による地域医療革命～, 福井県大学連携リーグ双書Ⅱ, pp145-173) 2011
4. 中桶了太, 高橋優二, 浜田貴幸, 堤 竜二, 賀來 俊, 池田終一, 調 漸, 押淵 徹: 平戸と長崎大学で育てる地域医療～5 年間の取り組み～ 第 15 回優秀研究表彰 研究論文集, (社) 全国国民健康保険診療施設協議会, pp36-42, 2011

学会発表数

| A-a | A-b | | B-a | B-b | |
|-----|--------|----|-----|--------|----|
| | シンポジウム | 学会 | | シンポジウム | 学会 |
| 0 | 0 | 3 | 0 | 1 | 13 |

社会活動

| 氏名・職 | 委員会等名 | 関係機関名 |
|--------|-----------|----------|
| 調 漸・教授 | 医道審議会専門委員 | 厚生労働省 |
| 調 漸・教授 | 評議員 | 日本神経学会 |
| 調 漸・教授 | 指導医 | 日本神経学会 |
| 調 漸・教授 | 評議員 | 日本神経治療学会 |
| 調 漸・教授 | 評議員 | 日本神経免疫学会 |
| 調 漸・教授 | 指導医 | 日本内科学会 |

| | | |
|----------|----------------------------|-----------------|
| 調 漸・教授 | 評議員 | 日本神経感染症学会 |
| 調 漸・教授 | 予備代議員 | 日本医師会 |
| 調 漸・教授 | 日本 ALS 協会長崎支部 顧問 | 日本 ALS 協会長崎支部 |
| 調 漸・教授 | IPPNW 世界大会実行委員会 委員 | IPPNW 日本支部 |
| 調 漸・教授 | IPPNW 日本支部国際評議員 (長崎支部事務総長) | 広島県医師会 |
| 調 漸・教授 | 理事 | 国立大学法人保健管理施設協議会 |
| 調 漸・教授 | 長崎県特定疾患対策協議会 委員 | 長崎県 |
| 調 漸・教授 | 長崎県専門医養成プログラム等調査検討委員会 委員 | 長崎県 |
| 調 漸・教授 | ながさき県民大学運営委員会 委員長 | 長崎県 |
| 調 漸・教授 | 佐世保・県北地域医療のあり方検討会 委員長 | 長崎県 |
| 調 漸・教授 | 長崎治験医療ネットワーク委員会 委員 | 長崎県 |
| 調 漸・教授 | 「長崎県産業振興ビジョン」策定会議委員会 | 長崎県 |
| 調 漸・教授 | 評議員 | 長崎県産業振興財団 |
| 調 漸・教授 | 代議員 | 長崎県医師会 |
| 調 漸・教授 | 代議員会予算委員会 委員 | 長崎県医師会 |
| 調 漸・教授 | ながさき治験医療ネットワーク委員会 委員 | 長崎県医師会 |
| 調 漸・教授 | 地方独立行政法人北松中央病院評価委員会 委員 | 佐世保市 |
| 調 漸・教授 | 平戸市民病院改革プラン評価委員会 委員長 | 平戸市 |
| 調 漸・教授 | 臨床研修外部評価委員 | 医療法人社団神鋼会神鋼病院 |
| 調 漸・教授 | 医療顧問 | 株式会社レクメド |
| 調 漸・教授 | 取締役 | 株式会社ファーマコセル |
| 中桶了太・准教授 | 評議員 | 日本薬理学会 |
| 中桶了太・准教授 | 代議員 | 日本プライマリ・ケア連合学会 |

競争的資金獲得状況(共同研究を含む)

| 氏名・職 | 資金提供元 | 代表・分担 | 研究題目 |
|--------|---------|-------|--|
| 調 漸・教授 | 長崎県・平戸市 | 代表 | 地域医療人育成事業 |
| 調 漸・教授 | 文部科学省 | 代表 | 文部科学省科学技術戦略推進費補助金事業 (途上国におけるイノベーションを促進する国際協力の戦略的推進) |

その他

学術賞受賞

| 氏名・職 | 賞の名称 | 授与機関名 | 授賞理由、研究内容等 |
|----------|----------------|--------------------|-------------------------|
| 中桶了太・准教授 | 第15回優秀研究表彰優秀研究 | (社)全国国民健康保険診療施設協議会 | 第50回全国国保地域医療学会の研究発表から受賞 |

新聞等に掲載された活動

| 氏名・職 | 活動題目 | 掲載紙誌等 | 掲載年月日 | 活動内容の概要と社会との関連 |
|------|------|-------|-------|----------------|
|------|------|-------|-------|----------------|

| | | | | |
|----------------------------|--|-------------------|----------------------|---|
| 調 漸・教授 | 被災地の現状 医師らが報告 「長崎に今できること」 | 西日本新聞 | 2011年 5月9日 | 東日本震災で被災した福島での診療にあたった県内の医師ら8人が、市民を対象に現地の状況を報告する長崎市の市民公開講座の紹介 調 漸教授講演 |
| 調 漸・教授 (へき地病院再生支援・教育機構) | インタビュー 「選択の自由」一定の規制も | 長崎新聞 | 2011年 5月15日 | 医師の都市部偏在の問題についての臨床研修制度等の是正策の提言 |
| へき地病院再生支援・教育機構 | 「地域が守る医療」 テーマ | 西日本新聞 | 2011年 5月18日 | 医師不足により崩壊の危機にある地域医療について学ぶ平戸市の市民公開講座の紹介 調 漸教授講演 |
| へき地病院再生支援・教育機構 | 平戸市生涯学習連携講座 「地域が守る医療～兵庫 県丹波地区の住民の取り組み」 | 西日本新聞 | 2011年 5月20日 | 上記の平戸市の市民公開講座の開催予告 |
| へき地病院再生支援・教育機構 | 「患者と医師 相互理解を」平戸・生月 地域医療考える講演会 | 長崎新聞 | 2011年 5月25日 | 上記の平戸市の市民公開講座の開催報告 |
| 調 漸・教授 | 「佐世保に救命センターを」 | 読売新聞 | 2011年 8月25日 | 「佐世保・県北地域医療のあり方検討会」にて県内3カ所目となる救命救急センターの設置を求める中間報告を提出 |
| へき地病院再生支援・教育機構 | [お知らせ]全国離島地域医療サミット in 徳之島 | 徳州新聞 | 2011年 9月12日 | 徳之島で行われる、離島・へき地医療の 一線で活躍する医師や識者を招いてのサミットの紹介 座長・パネリストとして調 漸教授、中桶了太准教授参加 |
| へき地病院再生支援・教育機構 | 地理的不利改善への一歩 ー徳之島での離島医療サミットー | 奄美新聞 | 2011年 10月10日 | 上記の徳之島のサミットの開催についてへき地医療に携わるそれぞれのパネリストの取り組みの発表を報告 |
| へき地病院再生支援・教育機構 | 離島医療サミット in 徳之島 | 徳州新聞 | 2011年 10月10日 | 上記の徳之島のサミットのプログラム等、開催報告 離島の医療問題を包括的に考える初のサミットについて言及 |
| へき地病院再生支援・教育機構 | 長大病院は今 [養生所から 150 年] 地域医療 | 長崎新聞 | 2011年 9月19日 | 平戸市民病院での研修医の受け入れや情報技術の活用等で地域医療を担う人材を育てようとする長崎大学、へき地病院再生支援・教育機構の取り組みの紹介 |
| へき地病院再生支援・教育機構 | 「地域医療とケア」を考え・体験する夏の合宿企画 | 平戸市立病院 広報 | 2011年 10月15日 | 九州内外の医師、医療関係者、医学生等が参加し、実習や講演を通して地域医療を皆で考えるへき地病院再生支援・教育機構主催の夏合宿の開催報告 |
| へき地病院再生支援・教育機構 | 「求む！地域医療支える医師」 | NHK長崎 ニュース 見んと！長崎 | 2011年 9月8日 | 上記の夏合宿での度島診療所の濱田医師の講演紹介・濱田医師の度島診療所における地域医療の取り組みについて紹介 |
| 調 漸・教授 | 地域と世界の医療に貢献する人材を | 研修医通信 | 2011年 2月号 | 調教授が自らの医師としての半生、理事としての活動、へき地機構の理念・取り組みを通して若手の医師たちに送るメッセージをインタビュー形式にて掲載 |
| 調 漸・教授 | 「漢方特集／人に優しい漢方は地域医療でも有用」 | 日経メディカル | 2011年 5月号 別冊付録 | 医療における漢方の処方有用性・患者にとっての利便性の高さから、今後の西洋医学との関係性をより深めていく期待を込めた提言 |